

美唄市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

人口の減少や自家用車が普及したことにより、バス利用者が減少を続け、収支の悪化から路線の維持確保が困難な状況です。一方で市の全域で高齢化が進み、また、交通空白地帯を多く有していることから、バス路線の維持確保が喫緊の課題となっています。

市民バス東線においては、平成24年に循環方式にし、利用者の利便性の向上を図ったり、乗車密度が極めて低いアルテピアッツァ美唄以東の区間を乗合タクシーにするなど、経費の縮減に努めています。また、西側地区においては、3方面の乗合タクシー(週2回、火・金曜日1日3便)を運行し、農村地区居住者の通院、買い物等の地域の足として寄与しています。

さらに、JRや中央バス美唄～岩見沢間との接続に考慮したダイヤとすることで、市外への買い物や通院にも便利な交通網としています。

生活交通確保維持改善計画の目標

1. 市民バス東線
 - (1) 利用者数54,000人、公共交通負担額23,718千円、収支率34.6%
2. 乗合タクシー 公共交通負担額を2,148千円
 - (1) 盤の沢・我路方面：利用者数227人、収支率19.8%
 - (2) 日東・茶志内方面：利用者数614人、収支率78.8%
 - (3) 中村・沼の内方面：利用者数547人、収支率42.5%

令和7年度事業概要

- 市民バス（循環方式）運行事業
- 乗合タクシー（デマンド型）運行事業（盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、中村・沼の内方面）

地域公共交通の現況

- JR函館本線：美唄駅、峰延駅、光珠内駅、茶志内駅
- 北海道中央バス(株)：市内1路線
- 美自校バス(株)：市内1路線
- 市民バス：市内5路線
- スクールバス：市内12路線
- 乗合タクシー：市内4方面

協議会開催状況

令和7年4月15日 一般乗合旅客自動車運送事業計画変更認可申請に書面協議を実施(乗合タクシー事業者変更)

令和7年6月24日 令和7年度第1回協議会を開催
主な協議事項：決算、予算、監査報告、フィーダー系統確保維持計画(案)について

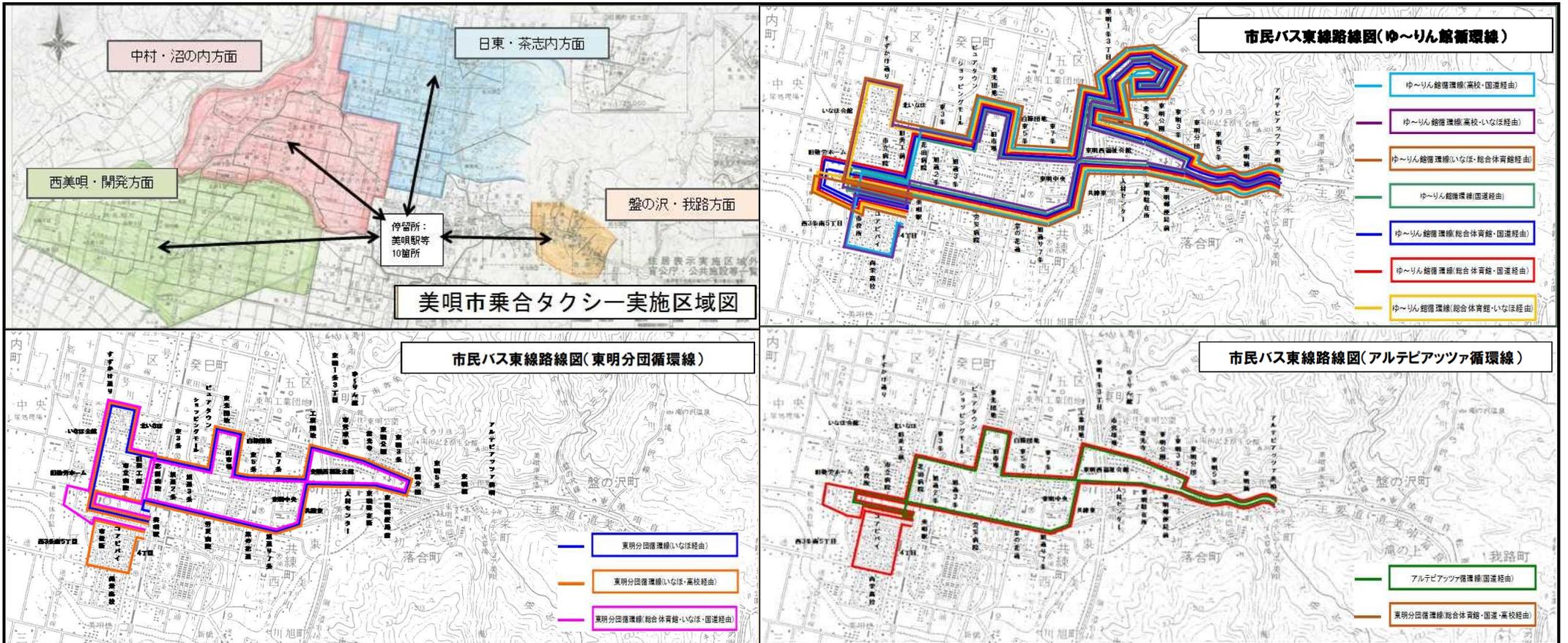
令和8年1月13日 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について書面協議を実施

令和7年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

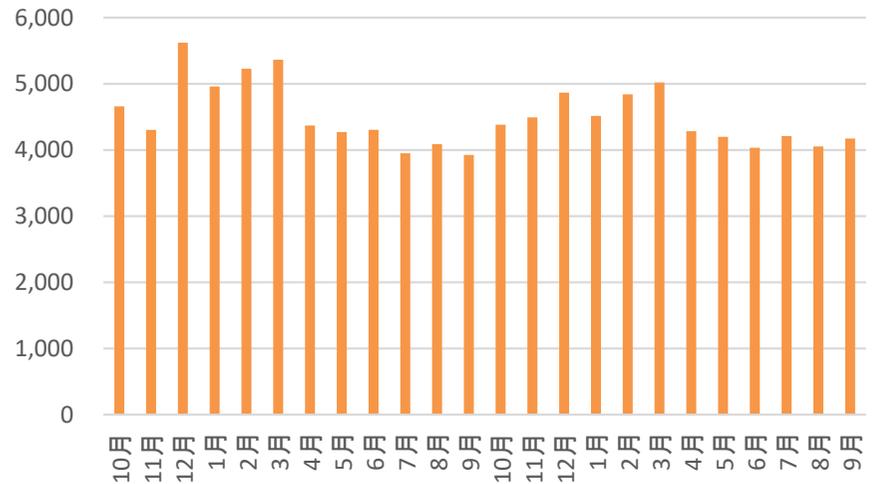
- H24. 10～ 市民バス東線を循環方式で運行開始。盤の沢・我路方面で乗合タクシー本格運行を開始。
- H26. 4～ 西側3方面で乗合タクシーの本格運行を開始。
- H27. 7～ 無料バス利用者アンケートを行い、無料送迎バスと市内路線の一元化を検討。
夏と秋に乗降調査を行い、利用者数の少ない系統や時間帯の便などを検証。
- H28. 9～11 美唄市地域公共交通網形成計画の実施に伴い、市内のバス路線がどのように変わるのかを説明する住民説明会を開催。
- H29. 10～11 市民バス東線及び南美唄線の路線を変更し、実証運行を実施。
- H30. 10～11 市民バス東線及び南美唄線の路線を変更し、2回目の実証運行を実施。アンケートや意見交換会の結果、市民バス東線については新しい停留所の設置と利用の無かった停留所の廃止、利用の多かった便を増便、南美唄線については現行通りの路線で運行。
- H31. 4～ 市民バス東線、本格運行を開始
- R 1. 10～ 市民バス料金改定(200円から230円)
- R 2. 2～ 乗合タクシー利用料金の値上げ(25%)
- R 3. 4～ 乗合タクシー利用料金の値上げ(25%)

2) 運行系統

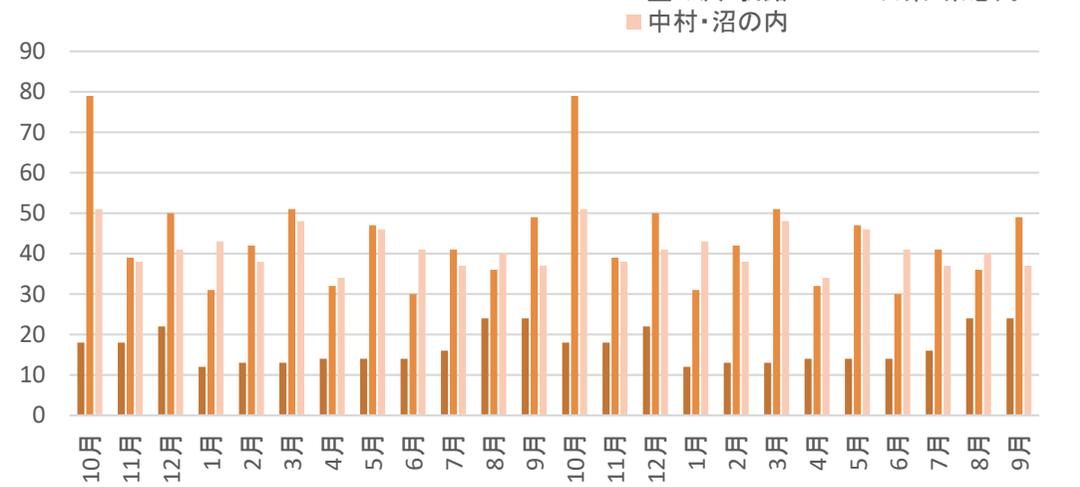


3) 利用実績

市民バス東線輸送人員 (人)

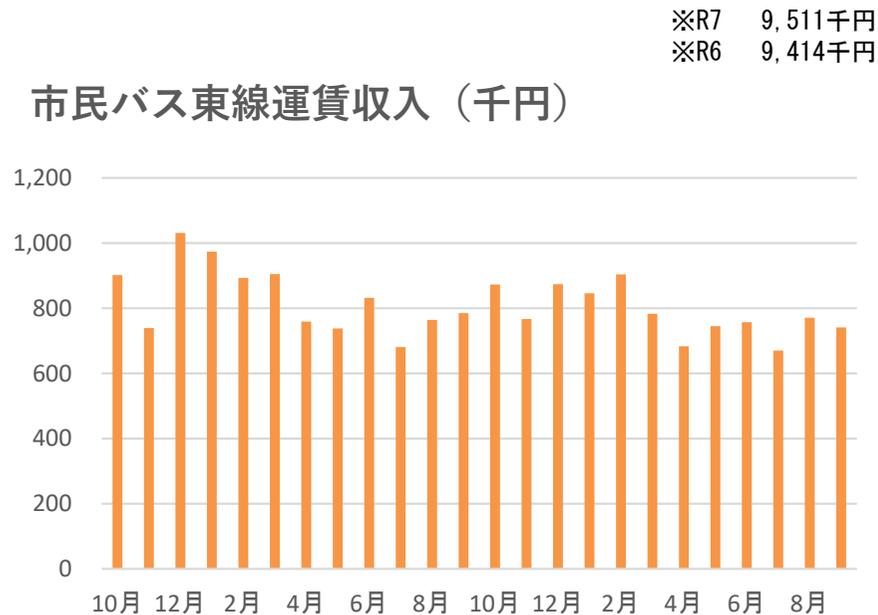


乗合タクシー利用人数 (人)

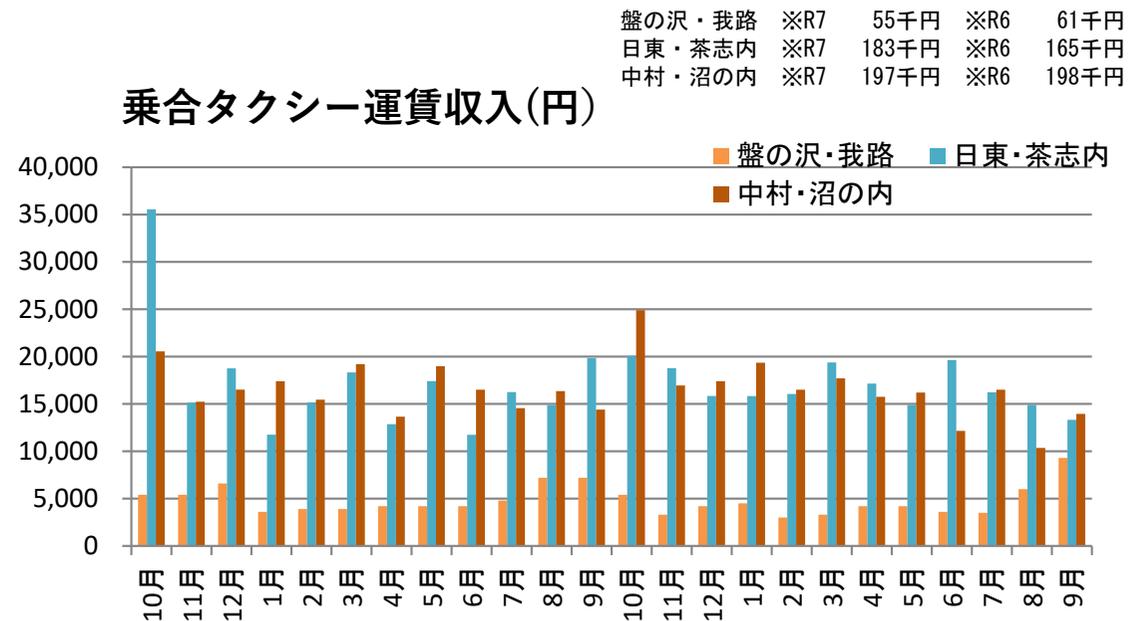


4) 収入実績

市民バス東線運賃収入 (千円)



乗合タクシー運賃収入(円)



5) 事業実施の適切性

1. 市民バス東線：計画どおりに運行している。
2. 乗合タクシー
 - (1) 盤の沢・我路方面：計画どおりに運行している。
 - (2) 日東・茶志内方面：計画どおりに運行している。
 - (3) 中村・沼の内方面：計画どおりに運行している。

6) 目標・効果達成状況

1. 市民バス東線
目標数値、利用者54,000人に対し、53,550人、公共交通負担額を23,718千円に対し110,059千円、収支率34.6%以上に対し21.79%となった。目標未達成の理由としては、利用者数は昨年とあまり変わらないことから、運行ニーズや利便性の課題等により利用が伸び悩んでいると考えられる。
2. 乗合タクシー
目標数値、公共交通負担額の2,148千円に対し185千円となった。各区域の状況については以下のとおり。
 - (1) 盤の沢・我路方面
目標数値、利用者数227人に対し184人、収支率19.8%以上に対し、18.1%と利用者数、収支率は目標数値を下回った。目標未達成の理由としては、この地区の利用者減少が主な理由であると考えられる。
 - (2) 日東・茶志内方面
目標数値、利用者数614人に対し508人、収支率78.8%以上に対し、66.1%と利用者数、収支率は目標数値を下回った。目標未達成の理由としては、利用者数は増加傾向にあることから、運行内容と利用ニーズが合致していないことが主な理由であると考えられる。
 - (3) 中村・沼の内方面
目標数値、利用者数547人に対し493人、収支率42.5%以上に対し、46.5%と収支率は目標値を上回ったもの、利用者数は目標数値を下回った。目標未達成の理由としては、利用者数は昨年とあまり変わっていないことから、運行内容と利用ニーズが合致していないことが主な理由であると考えられる。

7) 事業の今後の改善点

1. 市民バス東線
美唄市地域公共交通計画に基づき、AIデマンドバスの実証運行を実施中。利用実態を踏まえて運行内容や路線の見直し、周知強化等により利便性の向上を図っていく。
2. 乗合タクシー
美唄市地域公共交通計画に基づき、運行エリアの再編、運行形態の見直し、周知方法の工夫を行い、地域の移動手段として定着するよう取り組んでいく。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ 市民バス東線の利用者・公的負担額や乗合タクシーの一部で収支率の目標は上回ったものの、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率や公的負担額の改善に対する取組についてもご検討いただきたい。